

【あかぎ森林守り隊】

H27ver.

内容

かけがえのない自然をもっと身近に感じ、それを守るため、森について学んだり、環境整備体験をしたり、自然とともに遊んだりするプログラム。

活動に必ず必要なもの

- ・水筒（水分）
- ・帽子
- ・タオル
- ・カップ（動きやすいもの）
- ・運動靴
- ・軍手
- ・荷物を入れるバック（背負えるもの）
- ・なるべく肌が露出しない、汚れてもよい服装

活動前の準備

- ・入所前（活動計画表提出時）に交流の家職員と、活動のねらい（何を学ばせたいのか、どんな活動をさせたいのかなど）を確認し、プログラム全体の構成や、道具や資材の有無を打ち合わせておく。
- ・事務室にて職員（または講師）と最終打ち合わせを行う。

活動の流れ（※スタンダードな内容の場合）

- ①スライドを使って、あかぎの森の現状（松枯れ）や森の役割について学ぶ（30分程度）
- ↓
- ②松枯れの現状を実際に見に行く（40分程度）
- ↓
- ③森林整備体験をする（季節によって植樹や草刈りなど）（60分程度）
- ↓
- ④片付け・ふりかえり（30分程度）
- ↓
- ⑤終了



※その他、ネイチャーゲームやクラフト作り、ラリーなどと組み合わせることも可能

交流の家で貸し出しできるもの

- ・鎌（40）
- ・のこぎり鎌（40）
- ・剪定ハサミ（40）
- ・スコップ（20）
- ・移植ごて（40）

留意点

- ・この活動には、指導者1人当たり講師料8,000円が掛かります。
- ・活動自体は100名程度までできますが、安全管理や効果的な学習のため、1グループ（例えばクラス単位）につき講師1名をご用意ください。